

# I 実施計画（平成26～28年度）の概要（骨格予算）

## 1 計画の目的

本市は、長期総合計画において、市の将来像を「人も元気 まちも元気 新鮮都市 いとしま」と設定し、目指すべき都市イメージとして、「みんなに優しい住みよいまち」、「自然をたいせつにした美しいまち」、「みんなで作る自立したまち」を掲げています。

これらを実現するために、市のまちづくりの基本理念を「人と自然と文化を生かした協働のまちづくり」とし、その基本理念のもとに設定した7つの基本目標に基づき、今後のまちづくりを進めていくこととしています。

また、長期総合計画には、幅広い分野の内容が盛り込まれています。限られた資源で効率的に地域課題を解決するため「子育て支援プロジェクト」、「校区まちづくり推進プロジェクト」、「九州大学を生かした地域づくりプロジェクト」の3つを重点プロジェクトとして掲げています。

本実施計画は、長期総合計画に定められた施策に基づき、主要かつ優先度が高い事業を具体的に示すものです。

なお、本実施計画は、平成26年3月議会で決定した骨格予算分の計画を策定するものです。

## 2 計画書の構成

実施計画書は、主要な施策・事業を定める「事業計画書」及び全事業の財源を示した「事業一覧表」で構成しています。

実施計画書に計上している施策・事業は、ハード事業、又はソフト事業を下記の基準により選定しています。

### 【ソフト事業】

3年間の総事業費が100万円以上のもの。

### 【ハード事業】

事業完了までの総事業費1,000万円以上のもの。

## 3 計画の期間

実施計画の期間は、平成26年度から平成28年度の3年間とします。

## 4 実施計画事業の評価

実施計画に計上する事業については、事業実施の前後で、次に掲げる3つの評価を行います。

### ①事前評価

実施計画に計上する事業を決定するに当たり、事業の有効性、効率性などを視点に事前評価を行います。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 評価種類 | 内部評価                 |
| 評価時期 | 実施計画策定前              |
| 評価対象 | 実施計画に計上する事務事業（新規事業）  |
| 評価者  | 各事業担当部課、実施計画担当課、庁議   |
| 評価視点 | 必要性、妥当性、効率性、緊急性、有効性等 |
| 結果反映 | 実施計画策定、予算編成、職員配置     |

### ②中間評価

実施計画に継続して計上する事業について、当初設定していた効果目標が得られているかを評価し、必要に応じ事業の見直しを行います。

|      |   |
|------|---|
| 評価種類 | 内部評価、外部評価                                 |
| 評価時期 | 実施計画策定前                                   |
| 評価対象 | 実施計画に計上している事務事業（継続事業）                     |
| 評価者  | 各事業担当部課、実施計画担当課、庁議、外部評価委員                 |
| 評価視点 | 必要性、妥当性、効率性、緊急性、有効性等                      |
| 結果反映 | 実施計画の見直し（継続、拡大、縮小、休止、廃止等の判断）<br>予算編成、職員配置 |

### ③事後評価

実施計画に計上した事業について、事業完了後に、当初設定していた効果目標が得られたかの評価・分析を行い、その後の関連事業の参考とします。

|      |                   |
|------|-------------------|
| 評価種類 | 内部評価              |
| 評価時期 | 事務事業完了後           |
| 評価対象 | 実施計画に計上し、完了した事務事業 |
| 評価者  | 各事業担当部課           |
| 評価視点 | 効率性、妥当性、有効性等      |
| 結果反映 | 関連事業企画立案の参考とする    |

## 5 計画の概要と財源

本実施計画（骨格予算・3カ年）に計上した事業費の総額は、167億9,338万5千円（一般会計、特別会計、企業会計含む）で、その充当財源の内訳は、「Ⅱ 実施計画事業一覧表（P4～）」に示しています。

一般会計事業において必要な一般財源の総額は、27億5,794万7千円です。

実施計画策定にあたっては、厳しい財政状況を考慮しながら、国県などの補助、交付税措置のある起債などを極力活用し、緊急性を最重視して財源を配分しました。

### ◆基本目標別の事業費（一般会計、特別会計、公営企業会計含む）（単位：千円）

| 基本目標                     | H26年度     | H27年度     | H28年度     |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|
| ①みんなが健康で元気なまちづくり         | 25,055    | 9,141     | 0         |
| ②子どもが健やかに育つまちづくり         | 631,999   | 442,768   | 242,525   |
| ③海、山、川をたいせつにしたまちづくり      | 181,347   | 1,114,735 | 327,244   |
| ④快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり | 3,684,740 | 3,464,502 | 3,727,745 |
| ⑤みんなの力で進める協働のまちづくり       | 532,235   | 247,898   | 209,937   |
| ⑥経営感覚を持った持続可能なまちづくり      | 97,436    | 138,105   | 160,942   |
| ⑦地域資源を生かした産業創出のまちづくり     | 653,162   | 530,146   | 371,723   |
| 合計                       | 5,805,974 | 5,947,295 | 5,040,116 |

※全事業数・・・123事業(骨格予算)

以下、長期総合計画における7つの基本目標別に、該当する施策・事業の概要について説明します。